

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	旅行代理店（経営者）	・SARS問題が終息して、今後は良くなっていく。
	やや良くなる	一般小売店〔土産〕 （経営者） 百貨店（企画担当） コンビニ（店長） 都市型ホテル（従業員） 旅行代理店（従業員） その他サービス〔パチンコ機器製造販売〕 （エリア担当）	・当地への観光客の増加は、SARS問題の影響によって海外旅行から一時的に振り替えられたのではないと思われる。 ・店舗改装の予定があり、またイベントなども実施するため、かなりの集客が見込まれる。 ・猛暑が予想されているので、ビールや清涼飲料の売上が増加する。 ・予約数が増加している。 ・企業の海外出張や個人の観光旅行に動きが出ている。 ・SARS問題の影響により、パチンコが手軽なレジャーとして見直されてきている。
	変わらない	一般小売店〔電気屋〕 （経営者） 一般小売店〔薬局〕 （経営者） 一般小売店〔わさび漬〕 （経営者） 百貨店（売場主任） 百貨店（企画担当） 百貨店（経理担当） スーパー（経営者） スーパー（店長） スーパー（店員） スーパー（店員） スーパー（仕入担当） コンビニ（エリア担当） コンビニ（エリア担当） 衣料品専門店（店員） 衣料品専門店（企画担当） 家電量販店（経営者） 家電量販店（店員） 家電量販店（店員） 乗用車販売店（従業員） 乗用車販売店（従業員） 乗用車販売店（従業員） 乗用車販売店（営業担当） 乗用車販売店（総務担当） その他小売〔貴金属〕 （経営者） その他小売〔総合衣料〕 （店員） 高級レストラン（スタッフ）	・販売単価は下げ止まっているが、ボーナス支給に関して不安があり、全体的には変化がない。 ・バーゲンセールの際に入り客の動きも活発化するが、購入単価には変化がない。 ・消費動向は底で安定推移している。 ・客からは購買意欲が感じられない。 ・来客数、客単価には下げ止まりの傾向が若干みられるが、消費者は所得が伸び悩んでおり、老後など今後の不安も大きい。消費の拡大は難しい。 ・婦人服以外は継続して低い水準で推移している。 ・商品はますます売れなくなっており、価格破壊的な金額を出さないと購入してくれない状況である。 ・客単価は低迷しており、バーゲン価格の商品だけがよく動く。それでも、余分には買わない客が多い。 ・目玉商品を用意したりチラシを入れるなど対策を打っているが、その時だけで長続きせず好転へのめどが立たない。 ・競争相手は各店とも、他店より1円でも安くといったチラシ合戦になっている。客もそのように流れている。 ・低温の影響でアイスクリームの売上が対前年比で15%減少している。しかし健康志向の定着から、ヨーグルトや梅、豆乳などは非常に売行き好調である。SARS問題の影響で乳酸菌飲料も良く売れている。 ・来客数、販売量、客単価のどれをとっても改善方向にない。今後はたばこ増税前の駆け込み需要の反動も出てくる。 ・同業他社や量販店との競合はさらに厳しくなっていく、売上の前年割れ状況は今後も続く。 ・客単価には変化がなく、購買意欲は今後も上がらない。 ・衣料の購買動向に変化が出る兆候がない。 ・デフレは今後も続く。 ・社会保険料の負担増などもあってか、客の気分は萎縮している。 ・ダイレクトメールに反応した来客が非常に多く販売効率も良いが、反動でその後の売上が減少する傾向がある。 ・来客数は増加していくが、客は商品の選択にますます慎重になる。 ・客はボーナスの支給金額に失望している。 ・新製品の投入といった変化する要素がない。 ・ボーナス期が近いにも関わらず財布のひもは固くなっている。 ・客は自動車のような大きな買物にはかなり慎重になっている。 ・よほどの明るい材料がない限り、この沈滞ムードは打開できない。 ・ユーロ高によってヨーロッパからの輸入商品の販売量が減少する。 ・来客数の動き、客の注文内容に変化の兆しは全く見られない。景気は底ばいする。

	一般レストラン（経営者）	・客単価が著しく低迷しているため、来客数が増加するとしても前年に比べて売上が増加する見込みは薄い。
	一般レストラン（スタッフ）	・来客数が増加する時間帯もあるが、全体的な販売量には変化がない。
	スナック（経営者）	・客からはボーナスカットの話が多く、今後もあまり期待できない。
	スナック（経営者）	・夜の街は相変わらず閑散としている。
	都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況があまり良くない。ボーナスの支給額をみても、個人利用は今後減少する。
	都市型ホテル（スタッフ）	・SARS問題の影響でアジアビジネスは厳しいが、国内企業の動きが活発で売上をカバーしている。
	旅行代理店（経営者）	・宿泊旅行は来年3月まで前年を上回る勢いで予約が入っている。しかし秋以降はSARS問題の動向が大きく影響する。
	パチンコ店（店長）	・個々の店舗の稼働率にばらつきは出ているが、全体として来客数の大幅な増加は見込めない。
	住宅販売会社（従業員）	・低金利での固定金利化が進み、客も乗り気になってはいるが、景気が上向くまではいかない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・魅力のある商品は購入するが、必要でなければ見ているだけという客が多い。客の買い方は厳しさを増している。
	商店街（代表者）	・大型店が増加しており、安売りについていけない。努力はしているが打開策はなく、経営はますます苦しくなっている。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	・増税に加え、ボーナスが昨年と比較して悪いという客が多く、中元の時期にもかかわらず客の反応は鈍い。出費を極力抑えるという傾向は変わらない。
	百貨店（企画担当）	・客の購買意欲が硬直しているのに加えて、競争相手の大幅増床が予定されており、競争は激化する。
	百貨店（販売促進担当）	・気候の影響もあって重衣料の動きが良いが、気候に大きく影響されるようでは安定した売上は望めない。
	スーパー（総務担当）	・社会保険料の負担増とボーナスの減少が影響する。
	コンビニ（エリア担当）	・スーパーの営業時間の延長などが影響し、ますます厳しくなる。
	コンビニ（売場担当）	・いろいろな値上げがボディブローのように効いてくる。
	衣料品専門店（経営者）	・夏物の動きも少なく、明るい材料がない。
	自動車備品販売店（経営者）	・他店のチラシと比較して値引き要請したり、必要最低限の消耗品を購入したりといった客の買物動向は継続する。
	乗用車販売店（経営者）	・増税、所得減などの先行き不安から、客は消費をさらに締め付けている。問い合わせ件数や来客数も少ない。
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	・基本給が上がらずボーナスも目減りする状態が継続する中では消費は増えない。高額商品が売れる感触が、現在は少なくなってきた。
	観光型ホテル（スタッフ）	・夏の常連客、特にファミリー客の予約が減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	・不安定要素が多く不透明である。まだまだ厳しい局面に備えなければならない。
	旅行代理店（従業員）	・SARS問題による影響はかなり重い。
	タクシー運転手	・タクシー運賃の自由化に伴い、激安メーターが増加しつつある。
	ゴルフ場（経営者）	・予約状況は前年を下回っており、回復の兆しが無い。
	設計事務所（職員）	・安売りのマンションでも売れ残りがあり、人々は先行き不安から大きな出費には財布のひもが固い。
	住宅販売会社（従業員）	・サラリーマン世帯では税金などの負担が増えており、戸建住宅や分譲マンションを所有するよりも、転居ができて負担が少ない賃貸住宅志向になってきている。
	悪くなる	コンビニ（店長）
乗用車販売店（経営者）		・厳しい状況が続くため、販売戦略の立て直しが急務となっている。
一般レストラン（経営者）		・良くなる兆しは全く見えない。
設計事務所（経営者）		・悪くなる材料は多々あるが、良くなる材料は全くない。
住宅販売会社（業務担当）		・販売単価は安値で停滞している。また業界内で信用不安が発生している。
企業	良くなる	-

動向 関連	やや良くなる	電気機械器具製造業 (営業担当)	・市町村合併に関連して、地方のIT関連のインフラ整備が徐々に進む。
		輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・北米向けの輸出が再開される。
		建設業(企画担当)	・中部国際空港と愛知万博の本工事が計画に従って進んでおり、空港周辺を含めた関連工事情報が少しずつ動き始めている。
		輸送業(エリア担当)	・SARS問題が終息し、今後は回復してくる。
	変わらない	金属製品製造業(社員)	・仕事量の確保は見込めるものの、業界全体が回復する見通しはない。
		一般機械器具製造業 (販売担当)	・自動車産業の設備投資意欲は衰えておらず、受注や引き合いの件数も多いが、アメリカ景気の後退や取引先の信用不安といった懸念もある。
		一般機械器具製造業 (経理担当)	・国内の設備投資の仕事に期待が持てないため、海外輸出で売上を補っている状況である。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・ここ1年程の売上は完全な横ばい状態である。今後海外移管が進むが、当面はSARS問題の影響で様子見の状態であり、変化はない。
		電気機械器具製造業 (従業員)	・取引先によってばらつきはあるが、全体としては現状維持である。
		輸送用機械器具製造業 (工務担当)	・3か月先までは高い生産負荷が続く。
		新聞販売店[広告] (店主)	・チラシの出稿数は不透明な状況にある。また夕刊紙やスポーツ紙の購読減少が止まらない。
	やや悪くなる	金属製品製造業(従業員)	・特に設備投資の受注が厳しく、現在の水準を維持できるかどうか先行き不透明である。
		一般機械器具製造業 (経理担当)	・単価が厳しく利益が出ない状況である。
		電気機械器具製造業 (従業員)	・国内アパレルメーカーの設備投資が減少している。
悪くなる	非鉄金属製品製造業 [鋳物](経営企画)	・引き合いも減少しており、ますます悪くなっていく。	
	公認会計士	・都市銀行が貸出先に対して付加価値のあるサービスをしていない。 ・企業のバランスシートは改善していない。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社(社員)	・新規顧客の需要が増加傾向にあり、その中でも営業関係の伸びが顕著である。派遣需要は上向いている。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・営業、サービス業での求人件数が戻ってきている。
		職業安定所(所長)	・新規求職者のうち12.5%が事業主都合による解雇であるが、前年と比較すると20.7ポイント減少している。ここ数か月はリストラなどによる退職は減少している。
		職業安定所(職員)	・薄利多売ながら企業の受注量は確保されており、倒産件数も減少しているため、以前のような不透明感は薄れつつある。
		民間職業紹介機関(経営者)	・SARS問題も落ち着き、中途採用が動き出す環境が整ってきている。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・派遣就労を選択せざるを得ない求職者が明らかに増加傾向にある。若年層から中高年まで同一賃金水準であることが多く、可処分所得の上昇が期待できない。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・求人は関東や関西では社員、アルバイト、パートともに減少を続けているが、東海地域では社員は横ばいであり、アルバイト、パートは増加している。この状況はしばらく続く。
		求人情報誌製作会社 (企画担当)	・求人数が増加傾向とを感じる場面も多いが、業種によっては依然として低迷している。
		職業安定所(職員)	・求人数は微増で今後も増えるが、内容的には請負や派遣といった不安定求人の占める割合が高くなってきている。
		職業安定所(職員)	・建設業はじり貧状態で資金繰りが困難な企業も見られる。製造業も11か月ぶりに前年を下回るなど、管内の主要産業には明るい見通しが立ちにくい。
		職業安定所(管理部門 担当)	・就職件数は伸び悩んでおり、求職者の滞留傾向に変化はない。
	やや悪くなる	人材派遣会社(社員)	・派遣の注文はあまり無い。各企業とも社員数をさらに減らすことに力を入れている。
		職業安定所(職員)	・今までは大手企業で退職者を募っていたが、現在は建設業の中堅企業でも退職者を募る動きが出てきている。

	悪くなる	民間職業紹介機関（職員）	・派遣スタッフが増加する中で、企業からの請求単価は下がってきており、状況は厳しくなっている。
--	------	--------------	--